金色の雲は宿った（1989）

HOCHEBALA TUCHKA ZOLOTAYA
CHILDREN OF THE STORM

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ロシア
色彩 Color
時間 100分
初公開日 1994/01/22
公開情報 日本海

【解説】

スターリンにより強制移住させられた少数民族チェチェン人とロシア人の対立をテーマにした、自らもイングーシ人でカザフスタンに移住を強いられた経験をもつマミーロフ監督の意欲作。１９４４年、対独戦中のソ連。モスクワ郊外の孤児院の児童を乗せコーカサスに向かう列車の中に、コーリャとサーシャの双子の兄弟がいた。理想の地と聞かされた場所だが、行く先々無人の村ばかりで、目的のコロニーにもまるで人影がなかった。彼らは放浪者のイリヤから盗みや酒の味を教わる。親切な女教師レジナとも知り合った。そして、農場や缶詰工場の勤労に駆り出されてはしっかり食料をかすめ取るしたたかさを身につけ、なんとか生き延びる。が、おりしも、チェチェン人とロシア兵の争いが激化し、その犠牲になってサーシャは殺され、コロニーも破壊されてしまう。コーリャはそうした中、チェチェン人の少年アルハズルと出会い、彼と義兄弟の契りをむすんだ。彼に“サーシャ”と名乗らせて、まさに兄弟として行動するコーリャは、レジナと再会しても固く心を閉ざすのだった。そして、二人とも内陸部に護送されるが、チェチェン人と分かったアルハズルはその場で走る列車から蹴落とされてしまう……。題名はレールモントフのコーカサスを舞台にした詩『断崖』からの引用で、Ａ・プリスタフキンの原作は、タブー視されていた、チェチェン人虐待を赤裸々にあばいてセンセーションを引き起こした。だが、そうした興味以上に、映画は少年の“通過儀式”をテーマとする作品の中でも、ロシア特有の、日常生活自体のすさまじさを描く一編として高く評価できよう。

【クレジット】

監督	スラムベク・マミーロフ	Sulambek Mamilov
原作	アナトーリー・プリスタフキン	Anatoli Pristavkin
脚本	アナトーリー・プリスタフキン	Anatoli Pristavkin
撮影	ゲンナジー・カリューク	Gennadi Karyuk
音楽	エジソン・デニーソフ	Edison Denisov
出演	アンドレイ・バシキーロフ	
	ナタリア・メルツ	
	タメルラン・シャターエフ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.